

恵みと真理のニュース



2013年5月の四次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養5洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net



[証] 全ての家族を救ってくださり主の中で万時が益となるように導いてくださって感謝します。

<前回に続いて>

2000年ある日、田舎にいる母から連絡が来ました。いきなり、“嫁が今教会に通っているの？”と聞かれました。母の知り合いの占い師が嫁が教会に通っている”と辞めさせることはできないと言ったと母は言いました。それで 実は妻は以前から教会に通って私も最近通い始めたって親の健康と平安のため 祈っていると話しました。すると、びっくりするほど恵みで母は“私もこれから教会に行ってみよ”と言いました。すぐその次の週から教会に行ってみたと連絡を受けました。誰よりも教会に通う人を迫害した母だったので驚きました。その母でも選んでくださり救ってくださる神様の恵みに感激し感謝しました。一方私の父は故郷で一生先祖の祭司をするのが家庭の誇りと名誉だと思った方でした。そんな父だったが 妻と父は諦めず父の救いの

ため祈り、見るたびに教会に行つてイエス様を信じなさい説得しました。そうするうちに妻の誕生日のお祝いの電話は来ました。妻が電話する時切に私が舅に受けたいプレゼントがあります。教会に通つたら嬉しいです。それ以上願うことはありません。本当に幸せになると言いました。すると、まさか父がすぐ承諾してくれました。家庭の歴史をみるとこれは神様の奇跡な事です。私の家庭が神様の恵みで福音化されました。そんなに頑固で儒教思想に透徹した父がついに救われ変わり主を捧げながらなくなりました。そして母は今は名誉勳士として故郷で平安に暮らしています。

あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。(ヨハネ15:7) 御言葉の通りイエス様を信じ従順しながら祈りで生きた後は神様が共にいてくださり、導いてくださることが多いです。ドアの外で迷った

時間がすぎ主の中で神様の恵みと愛は数えられません。

妻は甲状腺癌を治癒され神様が下さる力で首区域長と女性奉仕連合会会長として任せられています。3人の娘も神様が見守ってくださり教会学校で高等部で委員をして青年部で活発に活動した長女は使命を受け医師になり次女は会社員になり末の息子は軍隊終わって大学を通いながら青年国内宣教部で奉仕しています。私も過分な長老の職分を受けきれいなユルテン聖殿で聖徒を捧げながら男性奉仕連合会で奉仕しています。

私と全ての家族が救われ永遠な愛と恵みを下さる主を愛しながら生きることに感謝します。神様の栄光を表す家庭になるように導いてくださる神様を賛美します。神様の権能でいつも謙遜で神様を捧げ捧げます。また多くの人々が主に戻るように神様の恵みを分かち合うように最善を尽くして生きて行きます。



[信仰コラム]

変質と変化

だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。(コリント人への第二の手紙5:17)

‘変化’と‘変質’は辞典には類似した意味で単語の解釈がなっているが、たいてい、‘変化’は肯定的概念で使用されて‘変質’は否定的概念で使用されます。その人が属した時代と民族と国家、生まれた家や知能と才能、そして身体の状態はその人に大きな影響を及ぼします。ところで、このすべてのものよりもっと重大なことがあるが、それは信仰です。信仰はその人のいまだけでなく、来世まで決定的で甚大な影響を及ぼすためです。ここで信仰という聖書に啓示されたことを信じるだけの意味します。天地を創造して人類の歴史を主管して救世主を送った神様を信じていることをいいます。私たちはこれらの信仰が変質されないように警戒しなければならず、これらの信じることで変化させることに努めなければなりません。

まず、信仰が変質されないように警戒しなければならぬことが、何かを調べてみます。

第一に、自分がイエス様を信じ以前に信奉した宗教で経験したものが信仰を変質させる要因になることができます。

第二に、便宜追求と隣人との円滑な関係を真理の言葉より優先にすれば、信仰が変質され

ます。イスラエル歴史で神様の懲罰が継続された最も大きな理由は彼らがカナン人たちが崇拝した偶像を神様と兼ねて仕えた罪悪のためでした。言い換えれば宗教多元主義に染まった変質された信仰のためでした。

第三に、勢力を拡大したり、人を喜ばせようとすると、信仰を変質させることになる危険があります。

第四に、平安と楽な生活が信仰を変質させる要因とならないように警戒しなければならない。第五、不便だし困窮した生活が信仰を変質させる要因とならないように警戒しなければならない。第六人を見て維持している信念は変質する可能性が濃厚です。人を眺めて信仰を持っていれば、その信仰はすでに変質する種を心に持っているのと同様です。

次に、信じることで変化させなければならないことについて調べてみます。

キリスト人を指して宗教人と呼ぶのは適切ではありません。“キリスト人は変化を受けた人である。”というのが適切な表現です。聖霊で生まれ変わって時間的にも質的にも完全に新たに变化された存在です。そしてこの驚くべき変化を受けたキリスト人に与えられた使命は生涯の間、変化させる仕事をする事です。

第一、傷つきでやまいの心を持った人たちが変化し、明るくて輝いた心を持つように導い

てくれなければなりません。

第二、自信が直面した困難な状況信じて信じて変化するべき信仰を持って直面した現実、状況、環境、問題を肯定的にもっと価値あるし有益に、光栄に変化させることができます

第三、聖徒たちは無神論者や偶像崇拝者らを新たな被造物になる変化を経験するように導かなければなりません。他の人のためにできる最上の仕事はその人がイエスキリストを信じて新たな被造物になる変化を受けるように助けることです。人にとってもっとも大事なのがイエスキリストを信じて信じて信仰です。皆さんは警戒をおろそかにしないで、信仰が変質されることがないようにしたいと思います。そして一面はキリストを信じて信じて新たな存在に変化を受けた人であるということを実感しつつ心を病んでいる人を変化させ、また自分は当面の問題を変化させ、更に、多くの人々が存在的な変化するように努めてください。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム ‘緑の牧場、清い川’ 本の語り中」

子供の教育と幼い子供から学ぶこと



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

今日は親が子供を教育する方法そして幼い子供から親が学ばなければならないことが何かについて、聖書の教えをよく探して見ます。

まず、親が子供を教育する姿勢と方法について探してみます。

幼い子供に親の影響力は肉体と精神そして魂まで与えるようになります。人生観、倫理観、信仰観そして考え方の形成に深い影響を及ぼします。そこで親の責任は非常に重大です。今日の本文に“父たる者よ。子供をおこらせなさい、主の薫陶と訓戒とによって、彼らを育てなさい。”

1. 親は子供を訓戒する必要があります。

“あなたの子を懲らしめよ、そうすれば彼はあなたを安らかにし、またあなたの心に喜びを与える。”(箴言29:17)しました。子供たちの脱線と放縦の原因の中には、両親の厳格さより過度な放任がもっと問題を取得します。放任することがどれだけ悪い結果をもたらすかを物語る例を聖書で見つけることができます。ダビデ王は子供の教育を疎かにして怒りを受けました。ダビデの4男アドニヤがダビデの統治晩年に王位を欲しがってソロモンを除外した宮廷の実力者たちを招待して祝宴を設けました。この話を聞いたダビデは自分と神様の間にあった約束に従ってソロモンに急いで王位を継承させました。ソロモンはアドニヤを寛大にしましたが、アドニヤが政治的な野心を捨てずに異常な行動をするのを見てブニヤ將軍を送って殺しました。アドニヤがこのような悲運を迎えることとなった原因の一つは、その父ダビデが彼を放任して育てたからでした。

“彼の父は彼が生れてこのかた一度も「なぜ、そのような事をするのか」と言って彼をたしなめたことがなかった。アドニヤもまた非常に姿の良い人であって、アブサロムの次に生れた者である。”(列王紀上1:6)ダビデは、その息子があやまちを行なったののしかったことがなかったです。そうしたからこの息子が結局は謀反を図って殺されました。

子供を叱って懲戒することが必要だが、注意すべき点があります。子供が幼いために、もう少し育った後にしようという考えは正しくありません。幼いほど教育することが簡単で、その効果が高いです。歳を取るほどお叱りや懲罰を減らす上、婉曲な方法を選ぶ必要があります。怒った状態で懲戒しないようにしなければなりません。親は子に対するあやまった認識や要求を捨てなければなりません。子供には大人が持っている知識と理解力、そして自己抑制力がないことを勘案する必要があります。子供を自分の所有物のようにしないで神様が任せてくださった子供たちとは考えをしなければなりません。また、自身の果たせなかった理想を実現するための継承者になるように強要しないでください。各人はみんな個性があって好みが違う、素質も違うし、自分の心に抱いている以上も異なります。

親は子供を叱って懲戒すべき責任があります。“むちを加えない者はその子を憎むのである、子を愛する者は、つとめてこれをこらしめる。(箴言 13:24)しました。正しい道に進むようにするために懲戒することです。”子をその行くべき道に従って教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない。”(箴言 22:6)しました。幼い時には訓戒をして懲戒して正しい道に導いてくれば一生に大きな幸せになります。親は子供の信仰教育に努めなければなりません。“ただ主の教養や訓戒に養育するよ”この言葉には信仰教育に努めるという意味が包含されています。親が子に与えられる最大の資産は信仰です。

神様を畏敬する信仰を持つように導いてくれなければなりません。信仰的な習慣をつけてくれなければなりません。七つの信仰的習慣を列挙してみます。

第一に、礼拝する習慣です。礼拝中心、礼拝まず、礼拝一の生活をするように教えなければなりません。主日礼拝が習慣になるようにしなければなりません。

第二に、奉仕する習慣です。教会の奉仕の活動に参加するように教えなければなりません。

第三に、傳道する習慣です。すぐに結果が見えなくても伝えるそのものとして大きな意味があるということを悟らせてくれなければなりません。

第四に、神様にささげる習慣です。神様に差し上げる楽しみを教えてくださいそれに伴う神様の恵みを体験する必要があります。十分の一を差し上げるように教えてください。一番いいものを神様に差し上げる幸せを学ぶように導いてくれなければなりません。

五つ、すべての栄光を神様に差し上げる習慣です。うれしくて良いことがあった時や自慢する事があれば、神様に感謝して神様に栄光を差し上げるように教えなければなりません。

六番目、神様の助けを求めている習慣です。何事にも最善を尽くす一方、神様の助けを信じて、懇救するように教えなければなりません。

7番目、神様の言葉を規則的に読んで黙想する習慣です。聖書句節たちをたくさん暗誦できるようにするのがいいです。

2. 子供たちに対する最も効果的な信仰教育は率先垂範することです。

苦境に立たされた時子供たちの前で落胆する行動をせず、信仰の言葉をして家族たちが集まって一緒に祈る姿を見せなければなりません。こんなに事に対処する姿は子供たちの信仰に大きな遺産となることです。

3. 子供たちに呪いの言葉や否定的なことを決してしないでください。

憎しみの言葉や呪いの言葉をよく聞いたら彼のような自我像を形成するようになります。自ら自身を蔑視することになります。苦難におちれば当然だと考え、抜け出せないことになります。

4. 他の子供たちと比較して評価して判断することを言うてはいけません。

その代わりに神様との正しい関係を持つように教えてくださいなければなりません。子供に対する肯定的信仰と言葉は、親が子供に与えられる恵みです。子供に向かって“期待する。信じている。愛してる。好きだ。”との言葉はたくさんするほど良いです。

5. 幼い時からイエスキリストを信じて彼の全生涯を神様に向けた信仰と希望と愛の中で生きていくのよりもっと福よかなことはありません。

子供が幼い頃から信仰で徹底的に養育を受けるのは大きな幸運です。子供をおいた皆さんは子供たちが信仰生活をおろそかにしないように努めて見て指導をお願いします。今の世代の親が子供を直主の教養や訓戒として養育したら次の世代にはみんな熱心な信仰を持った多くの人々がこの社会を牽引するのです。教会は忠誠された働き手たちに非常に多くなることです。韓国の国家と社会の未来は今日の親が子供をどのように養育するかにかかっています。聖書通りに子供を養育する聖徒は子供をためだけではなく、未来社会のためにも大きな貢献をすることです。あなたは自分の子供たちだけでなく、すべての子供たちが聖書の通りに教えを受けるように努めてください。

次は、幼い子供から親が学ばなければならないことが何かについて、聖書に記録された言葉を捜してみます。

イエスの生涯が終わる頃に弟子たちの中には誰がもっと偉いかとの競争とあらしになりました。それで、弟子がイエス様の前に出て“天国では誰が一番偉いですか”と質問しました。その時イエス様が一人の幼い子供を呼んで彼らのうち立てておっしゃいました。“弟子たちがイエスのもとにきて言った、「いったい、天国ではだれがいちばん偉いのですか」。するとイエスは幼な子と呼ばせ、彼らのまん中に立たせて言われた「よく聞きなさい。心をいれかえて幼な子のようにならなければ天国に入ることはできないであろう。この幼な子のように自分を低くする者が天国でいちばん偉いのである。’子供のように自分を低くする’ということの意味とは果たして何でしょうかこれを知るため、子供の属性とその属性に関連した霊的な意味を捜してみます。

第一に、子供は親をすっかり信じます。

子供は親の言いつけを単純に信じて従います。誰でも天国民となって神様の国で大きな者になるには、神様の言葉を子供のように疑いなくそのまま信じて認めなければなりません。

第二に、子供は親に徹底的に依存します。

子供は自分が弱い一人生きていけないことを知って全面的に親を依存し、また、両親の世話を信じて心配しません。親と一緒にいると不安がありません。親と一緒にいると楽しいです。天国民となって神様の国で大きな者になるには、子供が親を依存するように神様を徹底的に依存する必要があります。神様を徹底的にたよると、神様の世話を受けます。神様を徹底的にたよると、神様がくれる喜びが彼の心霊からわいにします。

第三に、子供は親に何でも要求します。

子供は親に要求するのを躊躇しません。このように父である神様に向かってイエス様の名前で口を広く開き、何でもたくさん祈る人が神様の国で大きいものです。

第四に、子供は学ぼうとする意欲が充満します。

子供は好奇心が多くて何でも知ろうとする欲求があります。神様の国で大きな者はキリストの言葉と聖霊の恵みを思慕する意欲が充満した人です。

聖徒の皆さんは子供を“ただ主の教養と訓戒で養育”し、そして子供の特長を持つ信仰生活をして天国で大きな者になるご幸福をお祈りいたします。